



ラオスの水の現状

技術改良の可能性

ラオスの概要

- 陸に囲まれた国；
隣接する国：カンボジア、
中国、ミャンマー、タイ、ベトナム
- 東南アジアで最も貧しい国のうちの一つ（169か国中124位）

主な社会経済指標	ラオス
収入	中の下
GDP (2011)	82.98億ドル
人口 (2011)	628.8万人
就学率(2010)	126%
貧困率(2008)	27.6%
出典: 世界銀行データベース	

ラオスの水の現状

- 水量は豊富：毎年2700億m³の水量
- しかし、全体の水供給率は低い(図表参照)
- ミレニアム開発目標の状況
*：「改善しているが不十分」(UNICEFとWHOの共同モニタリング)

* 2015年までに人口全体の69%が安全な水を利用できている。

	安全な飲み水を利用できる人口の割合 (2008年)
全体	57%
都市部	72%
農村部	51%

出典: UNICEF

- ミレニアム開発目標達成のため、ラオス政府は2020年までに都市部に住む人々の80%に対して24時間の水道サービスを提供することを目標とした。

取り組むべき主要課題

- 水量:

- 都市部: 5つの大都市と小さな都市との間での大きな格差 (水道利用率70%と21%、2006年) (出典: Somvan Mongphachan, 2010)
- 農村部: 30%~50%の村が毎年平均2.7か月のあいだ水不足に苦しんでいる。 (出典: Lao PDR Ministry of Health, 2011)

- 水質:

- 農村部または都市部の一部においても、水道の水質は国が定める基準を満たしていない。 (Source: ISF-UTS, 2011)
- その結果: 幼児死亡の約30%が不衛生な水が原因となっている。 (Source: UN, 2008)

日本の技術が協力できる部分

- 水量の問題に対して：
 - 雨水を集める仕組み(ラオスの特徴を考えると効果的である)；
 - 太陽電池ポンプ、ロープ・ポンプ；
 - コミュニティ規模での水供給ネットワーク、など
- 水質の問題に対して：
 - 家庭における水処理；
 - 太陽光による消毒技術；
 - 銀を含浸させたセラミック・ポット・フィルター；
 - その他の水浄化技術

